1　国語

| 学校番号 | T2101 |
|---|---|

# 平成３１年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語表現ａ | 単位数 | ２ | 年次 | １～４ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 国語表現　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ワークシート | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で必要な「書いて伝えるために必要な知識・力」を学びます。
・原稿用紙の使い方や年賀状の書き方など実践的な知識を養います。
・作品をよく読み、好きな作品を選んで朗読を行います。表現をすることでコミュニケーションの力を伸ばしましょう。
・語彙力の向上を目標に、毎回小テストを行います。必ず出席と予習をして、小テストに臨みましょう。
・小説を書くことを目標に、必要な語彙力を身につけ、想像力を養います。
・板書や発表の際は積極的に参加しましょう。

## 2　学習の到達目標

・会話練習やワークを通して、自らの意見を適切かつ効果的に伝えあうことができる。
・物語の創作を行うことを通じて、想像力・思考力を深めていく。
・文章の書き方や敬語の学習を通して、適切な言語表現を行うことができるようにする。
・朗読を行うことで言語感覚を磨き、社会生活の向上につなげる。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 様々な表現についてその効果を吟味したり、朗読を互いに批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 | 朗読で話題や題材に応じて効果的に話す。的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 話題や題材に応じて言葉遣いや文体などの表現を工夫し、自分の考えをまとめたり深めたりして効果的に文章を書いている。 | | 言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割等について理解を深める。相手や場に応じた表現をするための知識を身につけている。 |
| 評価方法 | 記述の確認（ワークシート）<br>行動の観察（朗読） | 行動の観察（朗読、スピーチ、会話練習、ペアワーク、グループワーク等） | 記述の確認（ワークシート、原稿用紙）<br>定期考査 | | 記述の確認（ワークシート）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 後期 | 視写 | 教科書の文章を、速く正確に原稿用紙に書き写すことで、正しい原稿用紙の使い方を学ぶ。<br><br>教材:<br>「言葉に変える」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:意義を理解し、意味を考えながら文章を写している。<br>c:誤字・脱字・句読点に気をつけて正確に書いている。<br>e:視写のポイントを理解している。 | a:記述の確認<br>c、e:記述の確認及び定期考査 |
| | 聴写 | 聴写することで、メモのとり方のポイントを学ぶ。<br><br>教材:<br>「言葉に変える」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:メモの目的を理解している。また、間違いがあった際はなぜ間違えたかを理解している。<br>c:必要な情報を判断し、速く書き取ることができている。<br>e:メモを取るポイントを理解している。 | a、c、e:記述の確認 |
| | 絵を言葉にする | 抽象的な絵や道のり等を言葉で説明させる活動を通して、具体的で正確に説明・表現する方法を学ぶ。<br><br>教材:<br>「言葉に変える」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:適切な説明のしかたを考え、伝えようとしている。<br>c:キーワード等を活用し、わかりやすく説明できている。<br>e:説明する際に必要なキーワードの選び方等を理解している。 | a:行動の観察と確認<br>c、e:記述の確認 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 文章を書こう | 文章表現の基本的な形を学ぶ。誤字、文章の対応、曖昧な表現回避、原稿用紙の使い方。<br>教材:<br>「文章を書こう」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:意欲的に文章表現の方法を学ぼうとしている。<br>b:例文の不適切な点を理解し、適切な文章で表現できている。<br>e:わかりやすく書く際に必要な、適切な書き方と不適切な書き方の違いを理解している。 | a:行動の観察と確認<br>c、e:記述の確認及び定期考査 |
| | 年賀状の書き方 | 年賀状の書き方を学び、実践的な知識を養う。<br>教材:<br>「年賀状の書き方」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:年賀状の意義を理解し、意味を考えながらルールを理解しようとしている。<br>b:年賀状のルールを理解し、適切な文章で表現できている。<br>e:年賀状のルールや用語を理解できている。 | a:行動の観察と確認<br>c、e:記述の確認及び定期考査 |
| | 待遇表現(敬語) | 尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いや、人間関係による表現の仕方の違いを学ぶ。<br>教材:<br>「敬語表現」<br>ワークシート | ○ | ◎ | | | ○ | a:敬語を正しく用いて、会話をしたりメールを書いている。<br>b:シチュエーションにあわせて正確に敬語を用いたやりとりができる。<br>e:尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いについて理解している。 | a:行動の観察と確認及び提出物<br>b、e:記述の確認及び定期考査 |
| | 朗読にチャレンジ! | 朗読を通して、発声法や内容が効果的に相手に伝わるための表現方法を学ぶ。<br>教材:<br>「朗読にチャレンジ!<br>ワークシート | ○ | ◎ | | | | a:発声法を正しく身につけ、内容を効果的に伝えるために工夫をしようとしている。<br>b:他の生徒の朗読を的確に聞き取り、フィードバックできている。<br>d:文章を的確に理解し、表現につなげているか。 | a:行動の観察と確認及び提出物<br>b:記述の確認<br>d:朗読の確認 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小説家になろう | 物語の創作を行うことを通じて、想像力・思考力を深めていく<br>教材:<br>「小説家になろう」<br>ワークシート | ○ | | ◎ | | ○ | a:意欲的に文章創作を行おうとしている。<br>d:内容に合わせた様々な表現方法や語彙を学び、的確に使用することができている。<br>e:小説を書くための技術や語彙を理解している。 | a:行動の観察と確認及び記述の確認<br>c、e:記述の確認及び定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。